

新作

2025(令和7)年度 人権啓発DVDのご案内

- ※ 貸し出しについての問合せは、**姫路市教育委員会人権教育課（Tel221-2776）**となっております。
 なお、予約時に管理番号を伝えていただくと、スムーズな対応ができますのでご協力をお願いします。
- ※ 映画の貸し出しのできる方は、**姫路市在住の方、姫路市内にある学校・園・所、企業・事業所、自治会等の団体に限ります**。また、映画の利用については、研修や講座、地域での映画会等、非営利的な上映に限ります。

管理番号	タイトル【テーマ】	時間	内容
S-837 ～ S-843	 みんな笑顔になる日まで 【ヤングケアラー・若年性認知症】	30分	西崎葵は、若年性認知症の父親・伸行を持つ中学生。仕事に追われる母親・香織の代わりに家事や妹・由奈の世話を担っている。家で勉強する時間をとることさえままならず、学校でも人目を避けてうたた寝をするほど負担を強いられていた。 ある日、ささいなことから葵は由奈とけんかをしてしまう。その様子を目にして、いたたまれなくなった伸行は思わず家の外に出てしまう。伸行がいないことに気づいた葵。無事、伸行は発見されるが、帰宅後、伸行は香織に「どんな小さなことでもいいから、人の役に立ちたい」と漏らす。 一方、葵がヤングケアラーであることを知り、何か手助けできないかと考える美咲。葵と美咲は少しずつ信頼を築いていく…。
S-844 ～ S-850	 あなたのいる庭 【子どもの人権】	35分	阪神・淡路大震災で夫と幼い娘を亡くし、心を閉ざしたまま生きる和佳奈。唯一の拠り所は、自宅の庭で花や野菜を育てること。だがある日、大切に育てていたトマトの芽を何者かに踏みつけられてしまう。謝罪に訪れたのは、児童養護施設・のじぎく園で暮らす実結と怜央。実結は自分たちが植え直すと申し出るが、和佳奈はそれを突き放す。 しばらくして偶然実結と再会した和佳奈は、あの日の自分の態度を気にして、実結に「トマトの種を植え直すのを手伝って」と声をかける。それ以来、実結と交流を深めた和佳奈は、互いに胸の内を打ち明け、2人は心を通わせていく…。
S-851	 部落の心を伝えたい番外編 まだあるの？どこにあるの？ なくせるの？ 【部落差別】	30分	実践の場で、教育の場で、また様々な著作を通して、長年に亘り部落問題と向き合い続ける近畿大学名誉教授・奥田均さん（72）。2016年部落差別解消推進法が施行されてから8年、まだまだ残る「まだあるの？どこにあるの？なくせるの？」という素朴かつ根本的な問いに、分かりやすく丁寧に答える講演は全国各地で大きな反響を呼んでいる。 豊富な体験、積み上げた研究実践、最新データの活用を駆使する”奥田節”を収録した画期的なビデオ教材。部落問題学習を進めるための必須の初級・入門編。

管理番号	タイトル【テーマ】	時間	内容
S-852	 母のさがしもの ～認知症とともに生きる～ 【認知症】	32分	中学生の息子・快人と二人暮らしの会社員の江村隆史は、一か月前から、認知症の母・早苗を家で介護するようになった。 ある日の仕事中、隆史のもとに早苗が警察に保護されたという知らせが…。早苗は徘徊だけでなく、食事したことを忘れ、衣服を正しく着ることができなくなり、家中を歩き回って何かを探す毎日。隆史は振り回され続け、既に疲労困憊だ。 突然襲ってきた母の認知症。隆史はネットで情報収集するも、機械的な回答ばかりで介護の歩目がわからない。一方で、「自分に何かできることはないか」と考え始める快人。 認知症の母にどう寄り添えばいいのか。その答えのヒントは、早苗がずっと探していたものだった一。
S-853	 聴く力 ～相手を想う 傾聴コミュニケーション～ 【障害者・外国人・LGBTQ+・部落差別・ジェンダー】	23分	職場では、多様な背景を持つ従業員が共に働き、さまざまな人権課題が存在しています。本教材では、「障害者」「外国人」「LGBTQ+」「部落差別」「ジェンダー」といった人権課題をテーマに、異なる想いや悩みを抱える人々に気づき、相手の声に耳を傾けることの重要性を示します。自身の言動が誰かを傷つけないために、働く仲間の互いを尊重し、相手の心の声を聴くこと。職場における「聴く力」を育むことをめざしたドラマ形式の映像教材です。 CASE1 それって合理的配慮？【障害者】 CASE2 配慮じゃなくて、排除？【外国人】 CASE3 見えないことと、いないことは違う【LGBTQ+ & 部落差別】 CASE4 女性応援？女性活躍？【ジェンダー】
S-854	 交わす言葉 通う心 障害のある人と共に生きる 【障害者】	23分	社会には、障害のある人が不便を感じる場面がまだまだ存在します。ですがそれは障害がハンデなのではなく、社会の側にバリアがあるのです。本作では障害を持つ3人の当事者にお話を聞き、障害のあるなしに関係なく、誰もが平等に、自分らしく生きる社会のために大切なことを考えます。 CASE1 視覚障害 CASE2 内部障害（オストメイト） CASE3 車いすユーザー
S-855	 おばあちゃんは認知症 ～お兄ちゃんからの手紙～ 【認知症】	15分	中学2年の悠斗は、野球部の新チームでレギュラーを外され、学校の成績も急降下。野球の練習にも参加せず、勉強にも身が入らない毎日だ。ある日、悠斗は父親の直樹から、京子おばあちゃんがうちで暮らすことになったと聞く。京子は認知症を患っており、一人暮らしのままでは症状が進みそうだからと心配してのことらしい。妹の結菜は喜ぶが、悠斗は少し戸惑い気味だ。 眠りについた京子を横に、家族4人揃ったテーブルで、直樹が京子の荷物の中から古い手紙を取り出した。その手紙の内容は、先の戦争末期、知覧の飛行場から特攻隊員として飛び立っていった京子の兄、勇の遺書だった…。